

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 高齢福祉課

シート No. : 18・27・30 作成日： 2026. 9/25

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む 3 誰もが生きがいを有するまちづくりを進める	すべての「団塊の世代」（昭和 22 年から昭和 24 年生まれ）が 75 歳以上となる令和 7 年（2025 年）を見据え、可能な限り住み慣れた地域で高齢者が自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの段階的な構築に取り組んできました。 令和 25 年には 85 歳以上の人口比率が急増し、様々なニーズがある要介護高齢者が増加することが見込まれます。それと同時に、生産年齢人口の急減が顕著となり、高齢者を支える人材の不足が大きな課題として表れると考えられています。 今後の社会情勢の変化も敏感にとらえ、3 年単位で見直しされる高齢者プランに掲げた事業を実施することで、着実に目標達成に近づけていきます。	地域共生社会の実現に向け、地域包括ケアシステムに基づき高齢者のケアを地域で包括的に確保・提供する体制の充実を図ります。 JOSO☆ハッピー体操、介護予防推進員など、独自の取り組みや認知症サポーターの育成を推進し、介護予防活動の充実を図ります。 医療・介護分野の地域内連携をさらに向上させるために、電子@連絡帳 JOSO システム未導入の市内医療・介護関係事業所へシステム導入を促すことで利用者数の拡大を目指します。 シルバー人材センターやシルバークラブは、今後も高齢者の就業や生きがいづくりの場として必要であることから、シルバー人材センターの業務内容の拡大やシルバークラブの参加促進に向けた周知を行います。
	施策	1-2 医療 3-1 高齢者福祉		
	施策内容	1-2 医療・介護の連携 3-1 高齢者福祉の充実 3-1 生きがい・就労対策の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市高齢者プラン （老人福祉計画・第 9 期介護保険事業計画）		
事務事業名		常総市高齢者プランの推進		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
高齢者向け 情報チラシの発行 （R7・8・9）	高齢者向け情報チラシを発行します。	チラシの発行回数 （回）	4	4	761 千円	717 千円
			4	4		
高齢者日常生活用具 購入費助成事業 （R7・8・9）	一定の要件に当てはまる方に対して、火災警報器、自動消火器、電磁調理器、老人福祉車の購入費用の一部を助成します。	助成台数（台）	9	10	101 千円	26 千円
			3	11		
理髪サービス事業 （R7・8・9）	介護認定の認定区分が要介護 3 から要介護 5 の方に対して、指定事業所が訪問理髪した際の費用の一部を助成します。	助成人数（人）	140	140	189 千円	162 千円
			54	140		
高齢者補聴器購入費 助成事業 （R7・8・9）	6 5 歳以上で両耳の聴力が中等度低下しており、耳鼻科の医師から補聴器の使用が有用と診断された方に対して、補聴器購入費用の一部を助成します。	助成人数（人）	64	50	1, 920 千円	1, 853 千円
			63	50		
敬老事業 （R7・8・9）	8 8 歳、1 0 0 歳、最高齢者に対し、長寿祝金等をお送りします。	贈呈者（8 8 歳到達者）（人）	350	350	2, 226 千円	2, 028 千円
			340	350		
シルバークラブ活動 補助事業 （R7・8・9）	シルバークラブ連絡協議会及び所属人数が一定以上のシルバークラブに補助金を交付します。	助成シルバークラブ数（クラブ）	30	30	735 千円	588 千円
			24	30		
シルバー人材センター 運営費補助事業 （R7・8・9）	高齢の方が、住み慣れた地域で就労できる環境を確保するため、シルバー人材センターの運営費の一部を補助します。	シルバー人材センター登録者数（人）	260	265	18, 500 千円	18, 500 千円
			224	270		
医療介護情報 共有支援事業 （R7・8・9）	通常時は医療・介護の専門職の連携ツールとして使用し、災害時は要介護認定者を主とした要配慮者の情報集約ツールとして活用できる電子@連絡帳 JOSO システムを運用しています。	ICT を利用した多職種間情報共有事例件数（件）	400	410	3, 300 千円	3, 300 千円
			599	420		
【2 0 周年】シニアゴルフ大会 （R7）	75 歳以上向けのゴルフ大会を実施することで、運動の動機付けを社会参加の機会確保を行い、介護予防を目指します。	ゴルフ大会参加者数（人）	80	—	300 千円	298 千円
			83	—		
【2 0 周年】JOSO ハッピーコンテスト （R7）	市民として一体感が感じられ、子どもから大人まで一緒に実施でき、だれでも知っている体操となることを目指して作られた、当市オリジナル体操のコンテストを実施します。	ハッピーコンテストの参加団体数（団体）	16	—	540 千円	438 千円
			46	—		

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
要支援・要介護者数（第 1 号被保険者のみ）	16. 6% （R8）	16. 5% （R8. 3 月）

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
令和 6 年度より開始した、高齢者補聴器購入費助成事業について、制度の周知が進んだことで、年度当初に予定した以上の申請があり、助成を行いました。 また、合併 20 周年事業では、活動的な後期高齢者のゴルフ大会や多世代が参加した JOSO ハッピーコンテストを通して、介護予防の周知を行うことができました。 地域支援事業では、介護予防・日常生活支援総合事業を、「してあげる支援」から、「出来ることを増やす支援」にしていくためのプレ事業を、一般介護予防事業として実施しました。	☒ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	高齢者向け情報誌は刷新する必要がある、常に適正かつ価値ある情報を掲載できるよう研究していきます。また、制度の周知が進んだ補聴器購入費助成事業については、より効果的な難聴対策の一助となるよう、他市の事業も調査していきます。 一般介護予防事業では、通所型・訪問型サービス・活動終了後の受け皿となる、地域の通いの場を維持・拡大し、空白地帯が減少するように取り組みます。 また、任意事業の家族介護支援事業についても、実施要綱に合わせた制度改正を進めます。			

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 高齢福祉課

シート No. : 18・27・30 作成日： 2026. 9/25

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後 期 基 本 計 画	施策の大綱		事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標			
	施策			
	施策内容			
	その他、根拠法令及び分野別計画等			
事務事業名				

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
介護予防普及啓発事業 （いきいき教室等） （R7・8・9）	いきいき教室、いきいきパワーアップ教室、シルバ ーリハビリ体操教室、出前いきいき教室、JOSO いき いきマージャンを実施します。	一般介護予防教室に 初めて参加した市民 の人数（人）	30	30	1, 997 千円	1, 737 千円
			97	30		
地域介護予防活動 支援事業 （R7・8・9）	介護予防推進員養成研修及び介護予防推進員現任研 修を実施します。	介護予防推進員新規 登録者数（人）	20	20	180 千円	118 千円
			33	20		
在宅医療・介護連携 支援事業 （R7・8・9）	医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得な どのための研修などの地域の実情に応じた医療・介 護関係者の支援をします。	医療・介護関係者向 け研修等の実施回数 （回）	1	1	3, 600 千円	3, 600 千円
			4	1		
認知症初期集中支援 推進事業 （R7・8・9）	認知症相談事業や認知症初期集中支援チーム検討委 員会の開催、認知症初期集中支援チーム活動を推進 します。	初期集中支援チーム 介入人数（人）	5	5	60 千円	0 千円
			0	5		
認知症地域支援・ケア 向上事業 （R7・8・9）	認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰も が参加することができ、又は集うことができる認知 症カフェを活用した居場所づくりを推進します。	認知症カフェ定期開 催ヶ所数（ヶ所）	2	2	189 千円	101 千円
			2	2		
認知症サポーター活動促 進・地域づくり推進事業 （R7・8・9）	認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を 温かく見守り、支援する応援者として認知症サポ ーターの養成を行います。	認知症サポーター養 成受講者数（人）	100	100	103 千円	62 千円
			310	100		
家族介護支援紙おむつ 等支給事業扶助費 （R7・8・9）	要介護3、4、5で常時、紙おむつ等が必要と認め られた在宅の高齢者に紙おむつ等の購入に要する経 費の一部を助成します。	申請件数（件）	230	230	4, 000 千円	3, 670 千円
			188	230		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			